



Go! Go! Camp! つながるWA ♪ @戸隠ガールスカウトセンター

もくじ

- ◆ 県連キャンプ Go! Go! Camp! つながるWA ♪ P.2-3
- ◆ レンジャー全国キャンプ The road to be 戸隠アンバサダー P.4
- ◆ 北関東地区スカウト集会 P.5
- ◆ 指導者研修会 リーダーはファシリテーター P.6
- ◆ Lah-Lah-Lahのつどい P.7
- ◆ 「テンドーフット・ブラウニー集会」+ジュニア!! どんぐり植樹隊! . P.7
- ◆ 議員連盟・賛助会員紹介 P.8



県連キャンプ
Go!Go!Camp!
つながるWA♪

コロナ禍明けの初キャンプ。
リーダーもスカウトも、久しぶりで、ワクワクよりドキドキ。
企画した実行委員会も、あーでもない、こーでもない、前はどうか、手探りの中で進めてきました。

埼玉県連盟創立55周年にあたる2024年の8月17日から8月19日、戸隠ガールスカウトセンターでスカウト108名(ジュニア70名 シニア27名 レンジャー11名)、成人会員59名 合計167名が参加し開催しました。

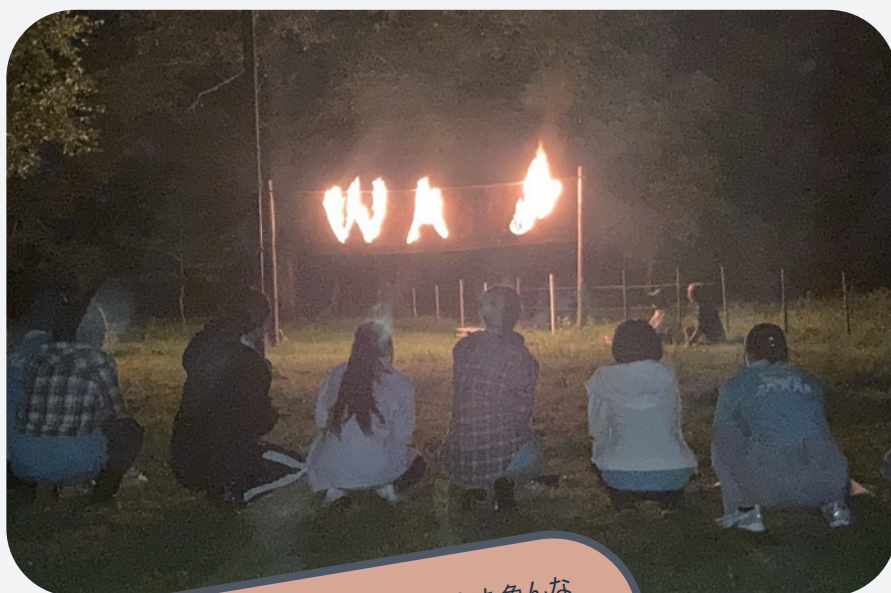
帰りのバスは自信と笑顔に満ちたスカウトとそれをうれしく思うリーダーを乗せて戸隠をあとにしました。



初めてのキャンプで不安で泣き出すこともありました。テントの中の虫に騒いだ夜。火おこしが出来なくて、焦ったあのとき。モリモリ食べたキャンプ飯。「チャンス！チャンス！チャンス！」にチャレンジだ！！自分の自信になったあんなこと、こんなことがありました。



自分でするのと人に教えるのでは大違いだということに気づくとき。キャンプファイアの盛り上がり。初めて会ったスカウトやリーダーもいつの間にか仲良くなったキャンプ。色々な人の支えと思いを感じる時。また、会おうねと言って別れた、バスの前。なによりも、初めましての不安げな顔が、自信に満ちた笑顔になった最終日。

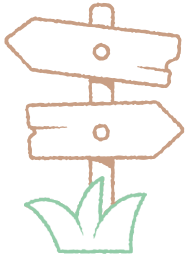


一般参加者の少女たちとスカウトも色々な困難があったと思うけれど、帰路のバス車内の様子や写真などからスカウトの充実した様子を感じ取れ、スカウトの成長に繋がったと感じました。(参加リーダーより)

2024 レンジャー全国キャンプ

Girls' Challenge Camp

The road to be 戸隠アンバサダー



2024年8月10日～14日、長野県の戸隠ガールスカウトセンターでレンジャー全国キャンプが開催され、埼玉県からはスカウト4名、一般参加者1名（後に入会）、運営スタッフ3名が参加しました。

キャンプディレクター：58団 新香織 アシストリーダー：19団 鈴木りつ子、58団 大澤果歩（ユース）



全国から集まった100名の高校生たちは、テント生活や野外活動を通じてリーダーシップや協調性を学びました。キャンプの最終日には、全員が「戸隠アンバサダー」として任命されました。

戸隠アンバサダーへの意気込み

戸隠の魅力をもっと伝えられるように、これからも活動を頑張ります！



18団 濱野 花音

自分の団のメンバーに戸隠の魅力を紹介する計画を立てたいと思います。次に訪れるのが楽しみです！

今回のキャンプで再発見した戸隠の素晴らしさをみんなに広めて、行きたくなるように活動していきます！



67団 小林 桃子

戸隠アンバサダーとして戸隠の環境に優しいという魅力を伝えることを頑張りたいです！

戸隠ガールスカウトセンターの魅力を最大限に伝えて、『行きたい！』と思ってもらえるように発信を続けます！



5団 松本 和



41団 植村 莉帆

(一般参加から入会)



67団 宍戸 千華

5日間のキャンプを通じて、参加者たちは自然の中で自分たちの力を試し、仲間との絆を深めました。戸隠の自然と共に成長したスカウトたちが

「戸隠アンバサダー」として魅力を発信し続けます！



北関東地区スカウト集会

IN 新潟

～WE LOVE US～ 一歩先の自分へ～

2024/9/14～9/16



2024年9月14日から16日、新潟県の国立妙高青少年自然の家で、北関東地区スカウト集会が開催されました。6県（茨城、栃木、群馬、埼玉、長野、新潟）の少女会員・成人会員、総勢113名（シニア部門46名、レンジャー部門6名、成人会員41名）が集まり、「クリエイティブチャレンジプログラム（CCP）」を学びながら、一歩先の自分へ、充実した3日間を過ごしました。



1日目

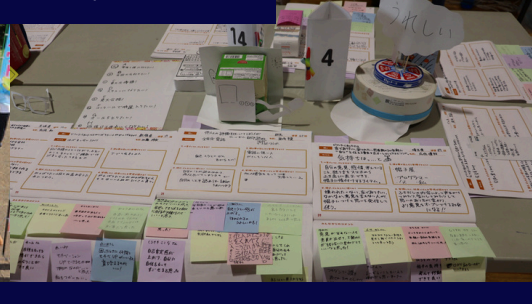
開会式に続いて行われた「CCP」では、少女たちが抱える悩み「モヤモヤ」をテーマに話し合い、互いにインタビューをしながら相手の悩みを深掘りして、その解決策を考えるという活動が行われました。チームメンバーとアイデアを出し合いながら、「モヤモヤマップ」を作成して悩みを整理しました。

夜には、スカウト実行委員が企画した交流会が行われ、パトロール対抗のダンスコンテストやゲームで、初めて会った仲間たちともすぐに打ち解けました。



2日目

前日に整理した「モヤモヤマップ」を元に、具体的な解決策を考えました。それぞれの作品を作ってアイデアを具現化し、解決策を発表しました。夜はキャンドルファイアで各県のスタンプが披露され、全員が一体になって楽しみました。



最終日

3日間の集会を通じて、互いに刺激を受けながら新しい挑戦をしました。



6団 廣田 心葉

色々な県からスカウトが集まっていて、同じソングでも歌い方が少しずつ違い面白かったです。初めて会う人と趣味について話せて楽しかったです！

67団 広住 優羽

CCP
相手のバイアス
見つけ出し
アイデア出して 試作も楽しい
(短歌風)

67団 大久保 玲

新しいお友達もできて、楽しく有意義な時間を過ごせました。私を最後まで好きでいてくれる人は私でありたいです。

67団 深澤 梨佳

初めての北関3日間はとても充実したものになりました。CCPの活動を元に事後活動に取り組みたいです。

【告知】2025年度 北関東地区スカウト集会

来年度は埼玉県連盟主催で、2025年11月1日～3日に開催します。スタッフ(対象シニア・レンジャー)、スタッフ・サポーター(対象成人)を募集します。共に盛り上げましょう！

リーダーはファシリテーター

9月29日(日)と10月20日(日)の全2回、株式会社メディア総合研究所の福田訓久先生ふくだくにひさをお招きし「リーダーはファシリテーター」と題して指導者研修会を実施いたしました。

1回目は21名、2回目は25名の参加がありました。

1回目

9月29日の研修では、「共通点探し」等の自己紹介とアイスブレイクの後、リーダーやファシリテーターとはどのような人かについてグループで話し合いました。その後もファシリテーターとして身に付けたいスキルのヒントになる複数のワークを織り交ぜながらの講義がどんどん進みました。ワークをしている時は童心に返り楽しく体験しているのですが、その後の先生の話でファシリテーター目線になれていなかった事に気づき、普段の集会でもスカウト達の言動を「みる、ひろう、きく」事や「場をつくる」事が出来ていただろうかと反省すると同時に、リーダーとしてのファシリテーター力をもっと身に付けたいと思える内容であったという間の1回目となりました。



2回目

10月20日の研修では、「最近の自分を家電に例えたら？」という自己紹介から始まり、グループでペーパータワーを作ったり、バラバラになった単語から文を作ったりと様々なアクティビティを通じてチームワークや心理的安全性等の大切さに気づくプロセスを体験しました。“体験を通して学ぶ”というのはガールスカウト教育の特長ではありますが、改めてこれが深い学びに結びつくことを参加者一同実感しました。また、「活動のゴールを定め、それに合わせた参加者への問いを準備する事が質の高い活動の要である」というメッセージに多くの方が頷いていました。

スカウトの気づきを促す活動の数々や、そこへ行き着くまでの考え方やプログラムの構成の仕方、より良い団運営のための働きかけのヒントなどが得られ、大変充実した研修となりました。



Lah-Lah-Lahのつどい：バス旅行

2024年4月4日木曜日、成人会員を募り、「Lah-Lah-Lahのつどい」として初めて県連主催のバス旅行を企画しました。

これは普段ガールスカウト活動でしか会えない成人会員の仲間と「地域、年齢を超えて交流をする機会を」と企画したものです。

行き先は新倉山浅間公園、河口湖方面。

当日は、あいにくの曇り空で富士山は見えませんが、バスの中は大変盛り上がり、「これまでおもしろいかわらなかつた方も交流ができて、大変楽しいひと時だった。」「是非また企画してほしい。」などの感想をいただきました。

県連から「Lah-Lah-Lah」と呼びかけがあったときには、声を掛け合って是非参加していただけたら嬉しいです。



「テンドーフット・ブラウニー集会」＋ジュニア！！ どんぐり植え隊！



2025年5月に第75回全国植樹祭が埼玉県で開催されることから「植樹」を身近に感じてもらえる機会になるよう企画した集会です。10月26日に、埼玉県の新しい公園「春日部夢の森公園」が会場で行われました。

成人会員40名、スカウト68名の参加があり、コナラ、クヌギ、椎の木などの苗200本を植えました。実際に木を植えることで環境保全活動ができました。



いまは小さな苗木でも将来、立派な森になることでしょう。また、当日はEAST地区の「おやこでチャレンジ」も行われ、いろいろなレクリエーションを一般の参加者といっしょに楽しみながら秋の一日をたのしく過ごしました。



埼玉県議会ボーイスカウト・ガールスカウト振興議員連盟の皆様

相談役 : 小谷野五雄・小島信昭・田村琢実
会長 : 中屋敷慎一
副会長 : 梅澤佳一・蒲生徳明・田並尚明
幹事長 : 新井豪 幹事 : 岡田静佳・岡村ゆり子
事務局長 : 細田善則 会計 : 藤井健志 監事 : 鈴木正人
会員 : 蒲生徳明(草加市)・永瀬秀樹(川口市)
白根大輔(川口市)・萩原一寿(川口市)・塩野正行(川口市)・岡村ゆり子(川口市)
関根信明(さいたま市北区)・藤井健志(さいたま市大宮区)・田村琢実(さいたま市見沼区)
宮崎吾一(さいたま市中央区)・高木功介(さいたま市浦和区)・高橋政雄(さいたま市緑区)
小島信昭(さいたま市岩槻区)・戸野部直乃(上尾市・伊奈町)
岡地優(桶川市)・金子裕太(鴻巣市)
中屋敷慎一(鴻巣市)・鈴木正人(志木市)・安藤友貴(新座市)・平松大佑(新座市)
保谷武(蕨市)・細田善則(戸田市)・松井弘(朝霞市)・松下昌代(朝霞市)
岡田静佳(所沢市)・小早川一博(所沢市)・松本義明(入間市)・泉津井京子(入間市)
内沼博史(飯能市)・東山徹(狭山市)・中川浩(狭山市)
渡辺大(ふじみ野市・三芳町)・須賀昭夫(川越市)・渋谷真実子(川越市)
深谷顕史(川越市)・小谷野五雄(日高市)・小川直志(坂戸市)・長峰秀和(鶴ヶ島市)
横川雅也(東松山市・川島町・吉見町)
阿左美健司(秩父市・横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町・東秩父村)
新井豪(秩父市・横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町・東秩父村)
飯塚俊彦(本庄市・神川町・上里町)・齊藤邦明(本庄市・神川町・上里町)
小川真一郎(深谷市・美里町・寄居町)・田並尚明(熊谷市)・千葉達也(加須市)
梅澤佳一(久喜市)・石川忠義(久喜市)・森伊久磨(蓮田市)・権守幸男(春日部市)
浅井明(越谷市)・橋詰昌児(越谷市)・宇田川幸夫(八潮市)・逢澤圭一郎(三郷市)
木下博信(草加市)・美田宗亮(三郷市)・吉良英敏(幸手市・杉戸町) 敬称略

賛助会員

株式会社ベルーナ 埼玉スバル株式会社 鈴木敏明(BS) 西山繁夫(BS) 福田三枝子
青山君子(1団) 内田千佳(1団) 大江裕子(1団) 大高和子(1団) 岡本枝里子(1団)
岡本武弥(1団) 齋藤和子(1団) 鈴木清美(1団) 川原瑛子(1団) 長井昌樹(1団)
萩原美和子(1団) 萩原美奈子(1団) 古江浩子(1団) 山崎恵美子(1団) 上岡悦子(4団)
吉澤久美子(11団) 湯浅きよみ(21団) 太田紳子(52団) 阪喜久江(52団)
第2団 第5団 第7団 第11団 第16団 第29団 第58団 第60団 第66団 第67団
(敬称略)

ご支援いただきありがとうございます



さくらそう No.93 発行/一般社団法人ガールスカウト埼玉県連盟 企画・編集/広報・財政委員会
2025年3月発行 31ヶ団 1,001人
〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5 浦和合同庁舎別館内
TEL048-824-6879
E-Mail:info@girlscouts-saitama.or.jp HP:http://www.girlscouts.saitama.or.jp/

能登震災 支援プロジェクト 活動報告



令和6年、能登半島地震が発生しました。
被災地である能登半島において、
地元のガールスカウトと各地のユース年代会員が、
ガールスカウトの教育プログラムを通して交流し、
地域の活性化の一助となることを目的に、
可能な範囲で支援や交流活動をおこないました。

埼玉県連盟からは3名のリーダー、SCAPPが参加しました。

実施日

2024年10月11日(金)～13日(日)

活動場所

石川県(輪島市、羽咋郡、金沢市)



活動内容

1日目：集合、企画の最終確認

18時に富山県の高岡駅に集合し、企画の最終確認後、翌日に備えて早めに就寝しました。

2日目：石川県第11団との交流 とき第2団地(仮設住宅)入居者との交流

早朝からバスで能登半島に向かいました。
午前中は輪島市で被災地の視察、石川県第11団(志賀町)の皆さんとお花の種を植えるなどの交流会を行い、
午後はとき第2団地(志賀町/仮設住宅)の入居者の皆さんと、ユースが持ち寄った全国各地のお菓子を食べて、ゲームやハロウィンパーティーをしました。

3日目：長土堀「絆」交流フェスティバル参加

電車で金沢市に向かい、長土堀青少年交流センターで長土堀「絆」交流フェスティバルに参加しました。
フェスティバルではFree Being Meを体験できるブースを出展し、ガールスカウトの活動を広めることができました。
また、別で出展していた金沢市のガールスカウトやボーイスカウトとも交流を深めることができました。





参加者の声

関根里紗さん
(67団リーダー)



能登半島地震が起きる1ヶ月ほど前に能登を旅行したため、地震のニュースを見て大変驚きました。自分が観光した場所も大きな被害があったことを知り、少しでも何か役に立てたらと思い、応募しました。

実際に被災地の様子を見て、地震から1年弱が経っていても未だ倒壊した家や、隆起した歩道などがそのままの状態が多く残っており、地震による被害の怖さを感じるとともに、復興の難しさを感じました。

また仮設住宅の方と交流をし、ユースと会話する中で涙を流している方などもおり、今まで通りに生活できないことの苦しさや辛さを感じました。

全国のユースが仮設住宅を訪れたことをとても喜び、交流会を笑顔で楽しまれている様子を見て、衣食住などの物理的な支援だけでなく、被災地に行ってただ話を聞いて被災者の辛さや悲しみを共有するだけでも大きな支援につながるのだと感じました。

北村美佳さん
(41団SCAPP)



能登半島地震のあとに何かできないかと思っていましたが、1人でボランティアに参加するのはハードルが高く、ガールスカウトとして行ける機会に行動に移したいと考えました。被災地の現状を知り、自分の災害対策や一個人、ガールスカウトとして出来ることを考える礎とし、今後被災地に対して行動に移せるようになる最初の一步として参加したく、応募しました。

すべての交流活動を通して、参加者全員が楽しそうに過ごしている姿が印象的でした。ユースがいるだけで周りが明るく楽しくなる力があると強く感じたし、1人1人が自分が思っているよりも周りに働きかけられる大きな力があると強く感じました。自分への自信にもなったし、ガールスカウトがもっと好きになった3日間でした。ユースで能登の復興の難しさは知っていましたが、まだ瓦が落ちている家もあり、復興の難しさを感じました。

永田まりなさん
(18団SCAPP)



当時受験生だった私は、ニュースで震災の様子を見ることしかできず、心を痛めていました。その後、大学進学などの環境の変化に追いつくのに精一杯でしたが、ちょうど慣れてきた時期にこのプロジェクトの案内があり、参加を決めました。

被災地の視察時に通った「のと里山街道」は最近一方通行の規制が終わったそうですが、道路はぼこぼこで、バスがとても揺れました。途中、被害にあった神社の視察や、バスからは何件か全壊している家も見えました。仮設住宅でのハロウィンパーティーで、最後に「歌うたってたら涙出てきた。ありがとう。」と涙ながらに仰った方がいて、その方を見てもらい泣きしてるユースがいたのが印象的でした。私もその光景にもらい泣きしてしまいました。